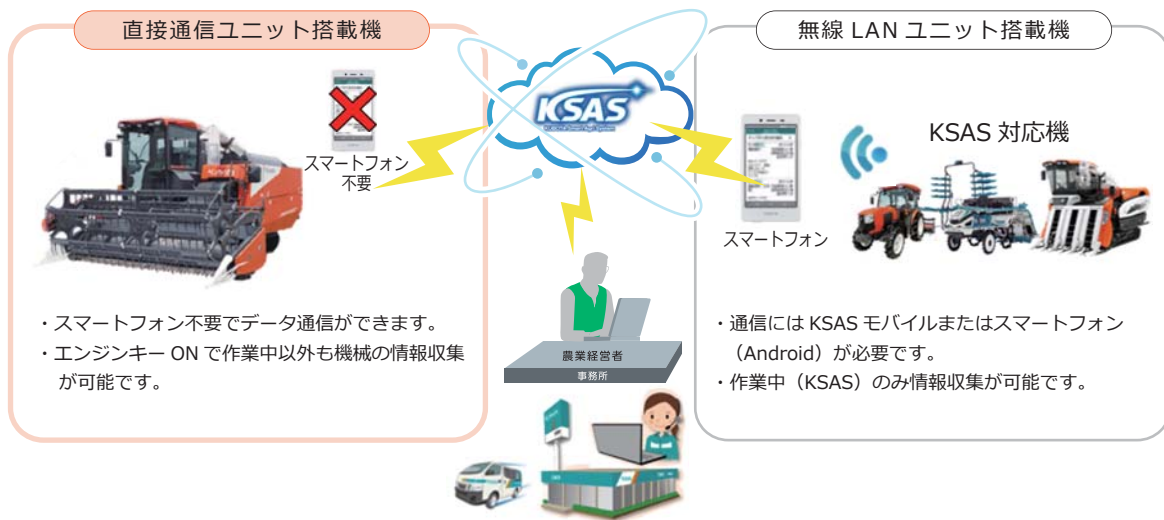


# 1 コンバイン (WRH1200) で自動日誌作成できるようになりました (自動日誌作成機能)

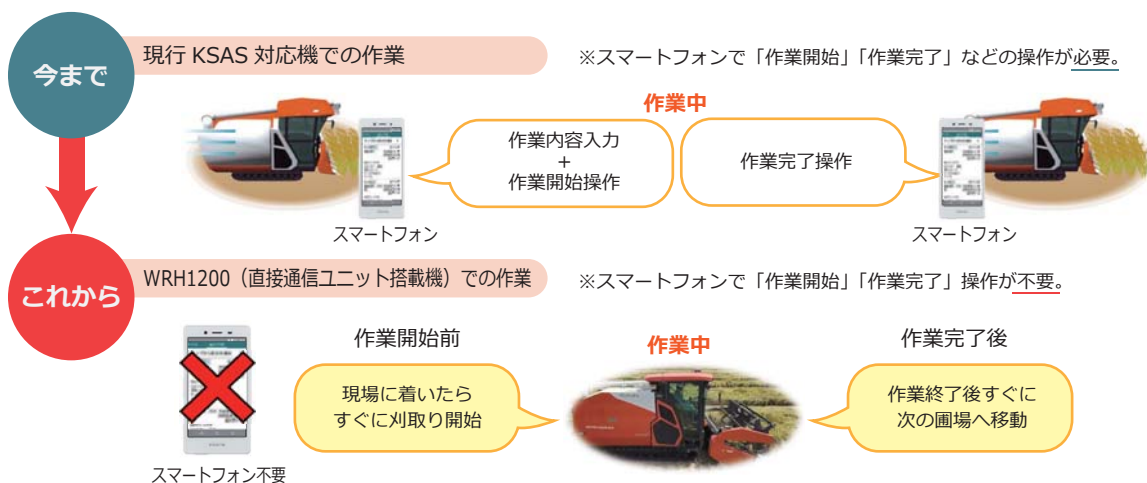
WRH1200 を使用した作業記録 (日誌) が KSAS で自動的に作成されます。  
刈取り作業の記録を残すことで作業の進捗や振り返りに役立てることができます。

## 通信方法

- 通信装置が「無線 LAN ユニット」から「直接通信ユニット」に変更になりました。  
コンバイン (WRH1200) が直接通信して、KSAS サーバにデータを送信するようになりました。  
スマートフォンが無くても位置情報や稼働情報 (収穫情報) の収集が可能になります。



- スマートフォンでの「作業開始」「作業完了」操作が不要になります。  
スマートフォン操作に不慣れなオペレータでも収穫情報や作業内容の記録が自動的に作成され、  
作業中スマートフォン (KSAS モバイル) も必要ありません。



※掲載の画面は予告なく変更されることがあります。

## 自動日誌の作成方法

- ① 事前に設定画面で機械毎に「自動日誌作成のON/OFF」「作業項目」「オペレータ」を選択します。

- ② 圃場・作付計画を登録した圃場内で作業を行うことで、事前に設定した内容の作業日誌が作成されます。



- ① 圃場内に機械が入ると作業開始  
※食味・収量センサ付きの場合は圃場を出る前に収量測定ボタンを押してください。
- ② 圃場外に機械が出ると作業終了
- 自動で作業日誌が作成されます。

位置情報を基に  
作業内容を自動記録

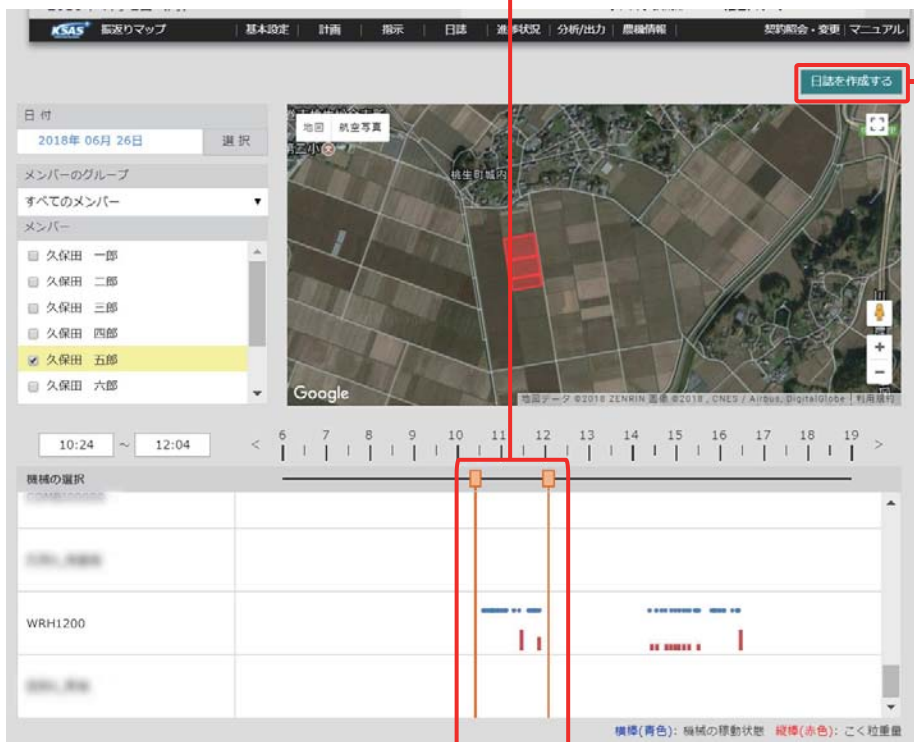
### 対応機種

- 普通型コンバイン 「ワールドシリーズ」 WRH1200
  - 自脱型コンバイン 「ディオニス」 DR6115・DR6130 : 2019年1月発売予定、DR595 : 2019年2月発売予定
- ※今後も対応機を拡大していきます。

### ⚠ 自動日誌作成機能の注意点

- GPS 情報が取得できない場合は自動で日誌は作成されません。(対処法: 次ページの「振り返りマップからリカバリーの方法」をご参照ください)
- スマートフォンを使用しない為、日誌の付属情報(写真、メモ、倒伏程度)は使用できません。
- 乾燥システムを使用する場合は、コンテナ選択ができません。
- 1つの圃場で5分未満の作業の場合は、日誌が作成されません。
- 機械電源 OFF 後 30分経過すると、新たな作業日誌として作成されます。
- 下記の場合はスマートフォンでの操作が必要となります。
  - ・ 正確な作業時間を記録する場合
  - ・ 作業指示で作物選択やカッター切り替えをする場合
  - ・ KSAS 乾燥システムでコンテナ選択をする場合

● 自動で日誌ができなかった場合、振返りマップを利用して手動で日誌を作成してリカバリーしてください。



①作業時間スライダーを  
収集したい作業時間に設定

②日誌作成をクリック



③「作業項目」を選択

④「対象圃場」を選択

⑤作業時間と稼働データが  
差し込まれます

⑥最後に登録ボタンを押します

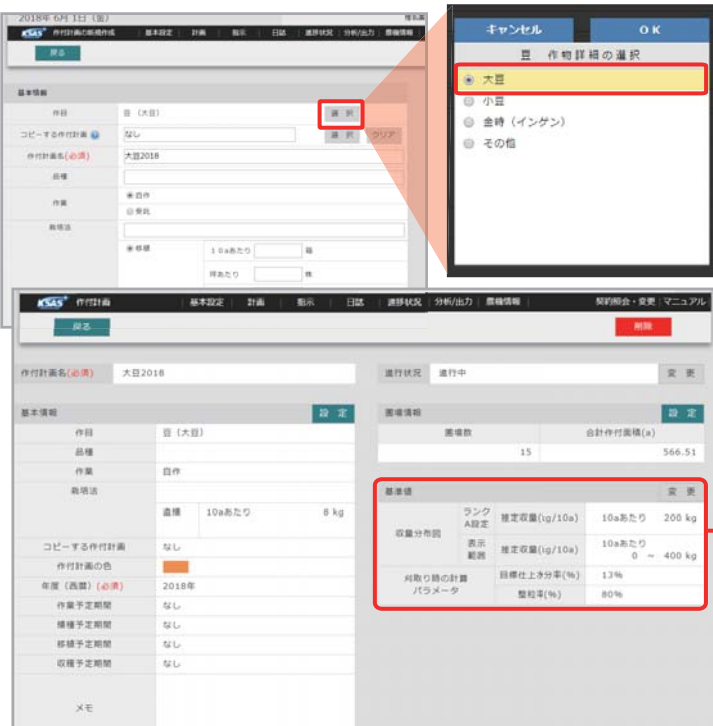
※掲載の画面は予告なく変更されることがあります。

## 2 大豆の収穫情報（収量・水分）も記録できるようになりました。

大豆の圃場毎の収量と水分の記録が行えます。

**対応機種** ● WRH1200 に 食味収量センサを後付することで大豆の収量・水分を計測することができます。(棒グラフは収量のみ)

- 作付計画の作目（豆）に作物詳細情報を追加し、「大豆」を選択することで収量グラフが表示可能となります。すでに作成済みの作付計画（豆）は、作物詳細情報が大豆に設定されています。大豆以外でご利用のお客様は、変更をお願いします。



コンバインで収集した収穫データを分析することで高収量、高品質な大豆生産に役立ちます。

収量目標を任意に設定可能

## 食味・収量センサ（オプション）

大豆の収穫情報を測定する為には「食味・収量センサ」の後付が必要です。

### 食味・収量キット



●食味センサ（水分・タンパク）

●収量センサ（収穫量）

### メーターパネル



収穫情報を確認できます。

- 測定できる作物と収穫情報（WRH1200）  
 稲・麦では食味（タンパク・水分）と収量、大豆では水分と収量の測定が可能です。

作物	収穫情報			分布図
稲	収量	水分	タンパク	食味・収穫分布図
麦	収量	水分	タンパク	
大豆	収量	水分		収穫グラフ

※大豆では収量グラフが表示されます。



※掲載の画面は予告なく変更されることがあります。

### 3 圃場内の収穫情報（収量・タンパク）を数m単位のメッシュ状に表示できます。

- 圃場内の収穫情報（収量・タンパク）をメッシュ状に表示することで圃場内のムラを把握することができ圃場改善や作物の安定生産に役立てることができます。
- メッシュマップ対応作物は稲、麦です。※大豆は対応外です。
- 食味・収量メッシュマップキット が必要です。（※1）



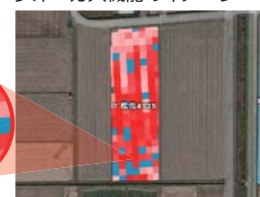
#### メッシュマップの作成方法

- 圃場・作付計画を登録済みの圃場で、作業（収穫）を実施します。



分析 / 出力 ⇒ 収量分布図 を選択し、作付計画を指定

フォーカス機能のイメージ



フォーカス機能で確認したい範囲の色を変えることで確認しやすくなります。

- 食味・収量分布図が表示され、圃場を選択すると圃場内のメッシュマップが表示されます。



収量・食味  
切替ボタン

サイズ切替

食味・収量の表示設定画面



「収量」のメッシュ色は赤、「食味」のメッシュ色は緑、任意の数値を指定できます。

食味収量分布図の基準値を任意に設定

メッシュマップは収量・食味の表示を切り替え可能  
(メッシュサイズ 5m、10m、15m、20m から選択)

- ⚠ **注意点** ● 直接通信ユニットの通信状態が悪い時、メッシュマップデータが抜けて表示される場合があります。

#### 対応機種

- 普通型コンバイン ワールドシリーズ WRH1200  
(食味・収量センサ、食味・収量メッシュマップキットの装着が必要)
- 自脱型コンバイン 「ディオニス」 DR6115・DR6130 : 2019年1月発売予定、DR595 : 2019年2月発売予定  
(PF仕様機に食味・収量メッシュマップキットの装着が必要)

※掲載の画面は予告なく変更されることがあります。

(※1) 食味・収量メッシュマップキット (オプション)

● 圃場内の収穫情報を細かく測定する為には「食味・収量センサ」と「食味・収量メッシュマップキット」の装着が必要です。

食味・収量センサ



●食味センサ



●収量センサ

食味・収量メッシュマップキット



●GPSアンテナユニット



●ごく粒流量センサ



●刈幅センサ



●振動検知センサ

機 種	食味・収量表示	オプション名	品 番	対応作物		
				稲	麦	大豆 (収量・水分)
普通型 WRH1200	食味・収量分布図	食味・収量センサ	5T140-75010	○	○	○
	メッシュマップ	食味・収量センサ メッシュマップキット	5T140-76010	○	○	×
自脱型 ディオニス	食味・収量分布図	PF仕様機で対応 (オプション不要)	-	○	○	×
	メッシュマップ	食味・収量センサ メッシュマップキット	未定	○	○	×

※掲載の画面は予告なく変更されることがあります。